

株主のみなさまへ

TOWA
REPORT第68期第2四半期
事業のご報告

2023年4月1日～2023年9月30日



東和薬品

連結業績のハイライト

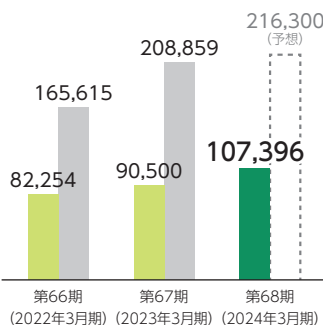
2024年3月期 第2四半期（累計）

売上高

1,073億96百万円

前年同期比 18.7% 増

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)

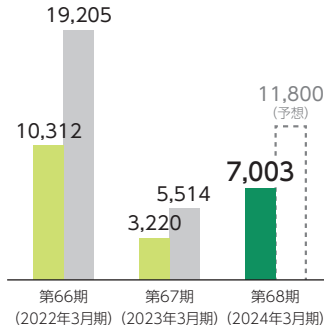


営業利益

70億03百万円

前年同期比 117.5% 増

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)

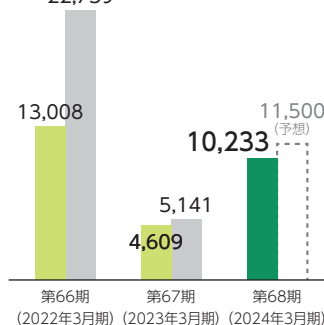


経常利益

102億33百万円

前年同期比 122.0% 増

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)

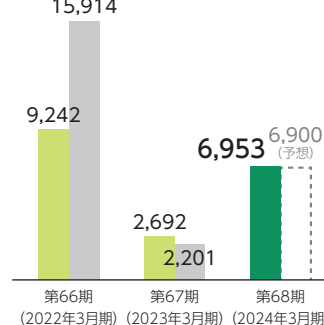


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

69億53百万円

前年同期比 158.3% 増

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)



2024年3月期 通期予想

売上高

2,163億00百万円

前期比 —

営業利益

118億00百万円

前期比 —

経常利益

115億00百万円

前期比 —

親会社株主に帰属する当期純利益

69億00百万円

前期比 —

※2023年3月期は、連結子会社9社の決算期変更の経過期間となり、当該連結子会社は15ヵ月（2022年1月1日～2023年3月31日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、2024年3月期通期予想の前期比については記載しておりません。

ヘルスケア産業におけるポジションの確立に向けて、着実に前進しております。



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第68期第2四半期の事業のご報告（2023年4月1日～2023年9月30日）をお手元にお届けします。

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、前年同期比で売上高は18.7%増、営業利益は117.5%増となりました。

国内ジェネリック医薬品業界におきましては、ジェネリック医薬品の数量シェアが80%を超え、当社も医療上不可欠な社会インフラとしての役割を果たしていく責務があります。また、適切な品質が確保されたジェネリック医薬品を安定供給することが社会的責任であると考えております。一方、複数の同業他社が業務停止等の行政処分を受けたことに端を発し、ジェネリック医薬品の出荷停止や限定出荷が相次いでおり、依然として供給不安が解消されていない状況です。このような状況を解消すべく、昨年10月に山形工場の既存棟の一部空きスペースへ20億錠分の生産設備の増設が完了し、本年度は期初より大阪・岡山・山形の3工場で年間140億錠の生産能力が整いました。さらに、2022年5月に山形工場の敷地内に35億錠分のジェネリック医薬品を生産できる新棟の建設を着工し、2023年11月に建設が完了しました。今後、建設が完了した新棟に生産設備の設置・導入等を行い、3工場で175億錠を生産できる体制を確立する予定です。

また、近年高騰を続ける原材料費及び光熱費や、毎年実施される薬価改定の影響は、非常に大きくなってきております。そのため、適切な品質が確保されたジェネリック医薬品の製造や安定供給体制の維持・向上に向けた投資が正当に評価される薬価制度となるように、業界として国に提案してまいります。そして、個社、業界、国・行政が三位一体となってジェネリック医薬品の安定供給という社会インフラの構築に対してそれぞれの役割を果たせるように、安定供給体制の維持・向上を進めてまいりたいと思います。

新規事業におきましては、子会社や地域と連携し、各種商品の開発を行っています。開発した商品の1つとして、マスク用アロマカプセルの『CAPRELA organics (カプリラ・オーガニクス)』は子会社の三生医薬株式会社が保有するシームレスカプセルの製造技術を活用して製造した当社オリジナルの商品です。また、その他に三重県多気町と協定を締結し開発した商品であるレトルトカレーの『サバローサカレー』は、多気町の特産品である「前川次郎柿」のうち、キズがつき商品として出荷できない柿を有効利用しており、美味しさだけでなく、食品ロスの削減にも繋がる商品でもあります。いずれの商品も当社の一般生活者向けの公式通販サイトである「東和薬品ヘルスケアオンライン」よりご購入できますので、是非お試しください。

第2四半期末の配当金につきましては、安定配当を維持し、当初計画通り1株当たり配当金を30円としました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長 吉田 逸郎

当社ECサイトで新商品の販売を開始

当社は、健康関連事業に関する取り組みの中で、医療用・一般用を問わず必要とされる医薬品や健康食品を提供していきたいという想いのもと、一般生活者向けの公式通販サイト「東和薬品ヘルスケアオンライン（以下、「当社ECサイト」という。）」を開設しました。開設当初は、男性用脱毛剤の第1類医薬品「Minoプラス」を中心に展開いたします。当社は生活者の悩みや生活習慣に寄り添うことを目指しており、同サイトを利用することで、購入者は他者の視線や時間を気にすることなく購入することが可能となります。



「Minoプラス」は脱毛成分であるミノキシジルを国内最大濃度^{*1}の5%で配合し、さらに毛細胞に栄養を補給し成長をサポートするパントテニールエチルエーテル等の4種のサポート成分を配合しています。脱毛剤を意識し始めた方にも抵抗感なく手に取ってもらうために、スキンケア製品と並べて置いても、自然と溶け込むスマートなデザインにこだわりました。また、包装には植物由来のバイオマスシュリンクラベルを採用し、プラスチックトレイなしの省資源包装^{*2}にすることで環境にも配慮しています。

※1 国内既承認ミノキシジル製剤中（2023年10月時点） ※2 当社「ミノアップ」との比較

また、当社ECサイトでは「Minoプラス」のほか、右ページに記載するレトルトカレーの「サバローサカレー」とマスク用アロマカプセルの「CAPRELA organics (カプリラ・オーガニクス)」も販売しています。

●当社ECサイト

<https://shop.towayakuhin.co.jp/>

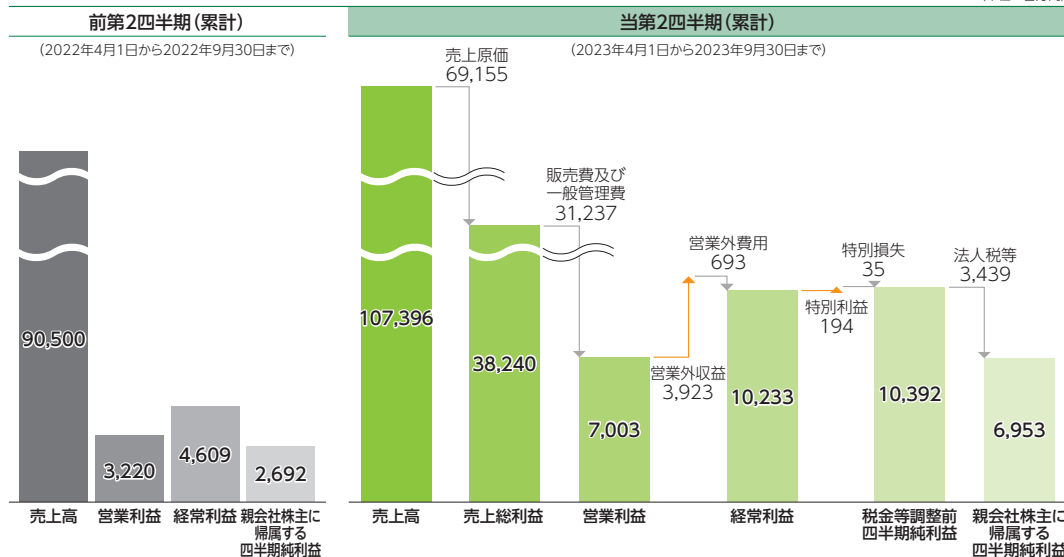


四半期連結財務諸表 (要約)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書のポイント

(単位：百万円)



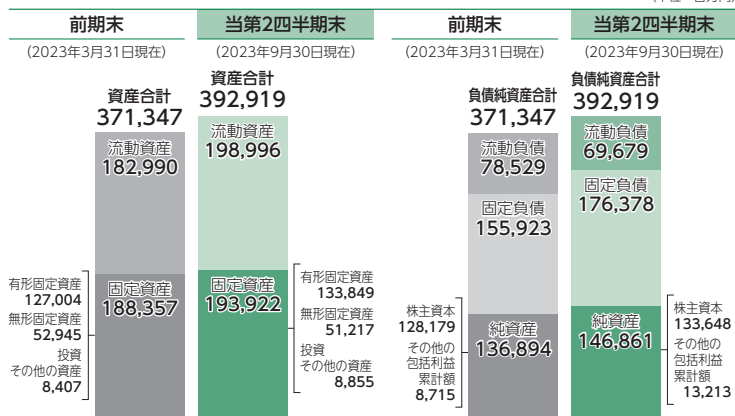
POINT 1

第2四半期累計売上高が1,000億円を突破

当第2四半期は、国内において近年追補品を中心に販売数量を伸ばしたこと等により、売上高は107,396百万円（前年同期比18.7%増）となり、売上総利益は38,240百万円（同15.3%増）となりました。販売費及び一般管理費は31,237百万円（同4.3%増）計上され、営業利益は7,003百万円（同117.5%増）となりました。

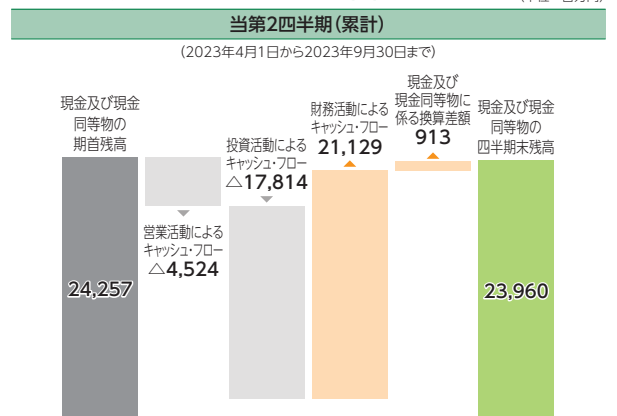
連結貸借対照表のポイント

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

(単位：百万円)



POINT 2

山形工場への設備投資により資産・負債が増加

当第2四半期末における資産合計は392,919百万円となり、前期末と比べて21,571百万円の増加となりました。その主な要因は、山形工場への設備投資に伴う固定資産の増加や棚卸資産の

増加等によるものです。一方、負債合計は、長期借入金が増加したこと等により246,057百万円となり、前期末と比べて11,604百万円の増加となりました。

POINT 3

営業キャッシュ・フロー及び投資キャッシュ・フローの減少により、現金及び現金同等物の残高が減少

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末と比べて296百万円減少し、23,960百万円となりました。その主な要因は、財務活動によるキャッシュ・フローでは長期借入金の増

加により21,129百万円の収入となったものの、営業活動によるキャッシュ・フローでは4,524百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローでは17,814百万円の支出となったこと等によるものです。

「サバローサカレー」は、食を通じて地域貢献を目的とする「地域SMILEプロジェクト」の第1弾として誕生したレトルトカレーです。同商品は、三重県多気町の特産品である「前川次郎柿」を使用し、同地域にある相可高校 食物調理科 調理クラブの生徒にレシピの開発を依頼し完成しました。香辛料の辛味の中にまろやかなコクと甘みがありながらも、健康を意識して、塩分を控え、DHA/EPA・たんぱく質を加味した商品となっています。同商品は、当社ECサイトだけでなく、現在、三重県にある調剤薬局等の一部店舗でも販売され、多気町におけるふるさと納税の返礼品としても取り扱われています。



「CAPRELA organics (カプリラ・オーガニクス)」は、オーガニックアロマオイル (精油) を使用したマスク用アロマカプセルです。マスクの内側に同商品を貼り付けカプセルを指で潰すことによって、マスク内にフレッシュなアロマ空間が広がります。香りは、柑橘系の果実の香りがする「心安ブレンドオイル」、香木の青森ヒバの香りがする「青森ヒバ ブレンドオイル」の2種があります。同商品は、不快なマスク生活を少しでも華やかにし、こだわりのアロマで自分らしく、笑顔のある生活を演出します。

また、以下のアンケートにご回答いただいた株主さまの中から抽選で「サバローサカレー」又は「CAPRELA organics (カプリラ・オーガニクス)」のいずれかをプレゼントします。以下のアンケートサイトにアクセスいただき、是非ご回答ください。

●アンケートサイトのURL

https://questant.jp/q/towa_kabutsuu_202312

なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



会社概要

社名 東和薬品株式会社
 本社 〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号
 TEL: 06-6900-9100 (代表)
 代表者 代表取締役社長 吉田 逸郎
 創業 1951年6月
 設立 1957年4月
 上場取引所 東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 4553)
 資本金 47億1,770万円
 事業内容 医療用医薬品の製造・販売

事業拠点及び販売拠点

本社 本社 守口別館 東京支社
 研究所 中央研究所
 製剤研究所
 京都分析科学センター
 健都ライフ・イノベーションセンター
 尼崎リサーチセンター
 姫路リサーチセンター
 工場 大阪工場 岡山工場 山形工場
 物流センター 東日本物流センター 西日本物流センター
 関東出荷センター 関西出荷センター
 営業・販売拠点 営業所71拠点 代理店60拠点

連結子会社

ジェイドルフ製薬株式会社
 大地化成株式会社
 グリーンカプス製薬株式会社
 三生医薬株式会社
 Towa Pharma International Holdings, S.L. (他7社)

役員

代表取締役社長	吉田 逸郎	取締役 監査等委員・常勤	井上 憲一
取締役	田中 政男	社外取締役 監査等委員	栄木 憲和
取締役	内川 治	社外取締役 監査等委員	大石 歌織
		社外取締役 監査等委員	後藤 研了

番組提供

報道ステーション
 テレビ朝日系24局ネット
 毎週月曜日 21:54~23:10

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月に開催
 剰余金の配当の基準日 3月31日、9月30日
 1単元の株式数 100株
 公告掲載方法 電子公告によって行います。
<https://www.towayakuhin.co.jp/ir/stock/koukoku.php>
 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 株主名簿管理人ならびに特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒541-8502
 (お問合わせ先) 大阪府大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 電話: 0120-094-777 (通話料無料)

株式の状況

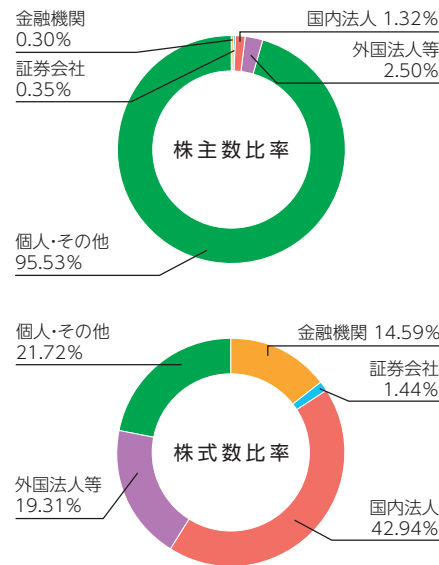
発行可能株式総数 147,000,000株
 発行済株式総数 51,516,000株
 1単元の株式数 100株
 株主数 7,472名

大株主一覧 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)吉田事務所	20,100	40.84
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,829	7.78
ビーエヌワイエム アズ エージーティ シーエルティエス ノントリーティアー ジャスデック	2,456	4.99
東和薬品共栄会	1,514	3.08
吉田 逸郎	1,455	2.96
(株)日本カストディ銀行(信託口)	1,424	2.89
東和薬品社員持株会	966	1.96
(有)吉田エステート	648	1.32
日本生命保険相互会社	438	0.89
第一生命保険(株)	435	0.88

(注) 当社は、自己株式2,296,756株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主分布状況



- ◆ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
 口座を開設されている証券会社等にお申出ください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問合わせください。
- ◆ 未払配当金の支払について
 株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し付けください。

◎ 見直しに関する注意事項
 当報告書の記載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見直し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。